

大賀ハスの年間作業スケジュール

時期	作業内容	備考
3月上旬	植え替え	3年に1回の間隔で行う。根茎の先端部2節を土の中に斜め15度位の下向きに、3節目を土より少し出して植える。 土深40～から50cm位に魚粉や骨粉を混入しておく。
5月	追肥1回目	立葉が出始めた頃に行う。油かすと魚粉が混ざった固形肥料を一鉢に20～30個程度を土に埋め込む。
6月	追肥2回目	花芽のできる直前に行う。施肥の仕方は1回目と同じ。
7月～8月	葉の切除	腐敗した浮き葉や痛んだ立ち葉を切除する。
”	花托の切除	自然交配防止のため。
9月～10月	枯れ葉の切除	水面の上で切除する。
10月～3月	水やり	表土が乾いてひび割れができない程度に。ひび割れからフザリウム菌が入って病気になりやすい。その病気にかかると根茎が赤紫色に変色する。

※1植替え時の土作り

田の土に少量の油かすと完熟した腐葉土を混ぜる。(ヘドロはあまり良い土ではない)

※2水やり(3月～9月)

10cm程度水を張つておく。

※3病害虫の駆除

葉が出始めた頃(5月末～6月)、アブラムシがつく場合がある。市販のアブラムシ用の薬を散布する。

※4大賀ハスの見分け方

その1:葉の表面が他の品種と比べて触るとビロードのような滑らかな感触がある。

その2:花弁数が14～20枚程。

その3:花は大型で明るいピンクの一重咲きで条線(花びらの筋)がぼやけている。

その4:花の直径はおよそ18cm、花托は4cm。

※5交配

種は交配しやすいため、種から育てない方が良い。大賀ハスにできた種でも交配している可能性がある。